

SSH 生物（7月31日～8月2日）

『第45回全国高等学校総合文化祭自然科学部門』（2年）

近畿大学生物理工学部（和歌山県紀の川市）にて研究発表

湯浅城ベニクラゲ再生生物学体験研究所（和歌山県有田郡湯浅町）にて巡検研修

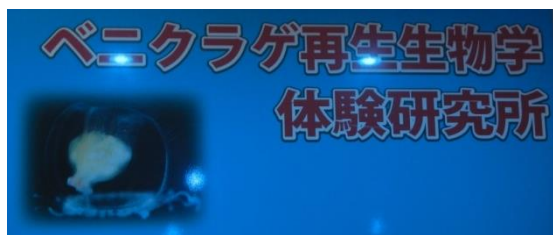
今年度の文化祭の全国大会である、全国高等学校総合文化祭、「紀の国わかやま総文 2021」自然科学部門の生物分野で東京都代表として2年生の永井洸暉が参加しました。

研究発表生物部門で「クビキリギスの色彩変異に関する研究」で口頭発表しました。コロナ禍で直前まで参加が危ぶまれていましたが、無事参加することができました。全国の生物部門の研究を行った高校生たちと交流することは難しかったですが、様々な質問も受け、有意義な時間となりました。

審査の先生方からもアドバイスをいただき、今後の研究に活かせるような好評をいただくことができました。今回の研究発表の場は、全国大会であり非常にレベルの高いものでした。大いに刺激を受け今後に活かしていきたいと考えています。

8月1日の午後に「ベニクラゲ再生生物学体験研究所」にて研修しました。

不老不死の生物とされるベニクラゲの生活史について元京都大学教授の久保田信先生から説明を受け、観察をしました。



夕方、近畿大学生物理工学部にて研究発表を行いました。また他県の代表者の研究発表を7件聴き、質問等を行いました。

